

2023年6月5日

住友林業株式会社

「JPX プライム 150 指数」の構成銘柄に選出

住友林業株式会社(社長:光吉敏郎、本社:東京都千代田区)は5月26日、東証プライム市場の時価総額上位銘柄を対象にした新指数「JPX プライム 150 指数」の構成銘柄に選出されました。「JPX プライム 150 指数」は東京証券取引所がプライム市場に上場する企業の中から資本効率の高い企業 150 社を選び指数化する指標です。当社の選出理由は「資本収益性」の高さで、2022年12月期のROE[※](自己資本利益率)は19.4%でした。

■「JPX プライム 150 指数」について

「JPX プライム 150 指数」は2023年7月3日から算出を開始する新たな株価指数です。東京証券取引所は東証プライム市場への上場企業のほぼ半分の会社がPBR(株価純資産倍率)^{※1} 倍を割り込んでいる状況を踏まえ、資本収益性と市場評価の2つの観点で企業価値の創造が期待できる企業を選出する新たな指数を開発。日本を代表する価値創造企業を「見える化」し指数や構成銘柄を投資対象にして、価値創造経営の浸透や日本の株式市場の魅力向上を目指しています。

<参考>

JPX プライム指数算出要領

<https://www.jpx.co.jp/corporate/news/news-releases/0060/cg27su0000007ruk-att/20230526-01.pdf>

JPX プライム指数構成銘柄 一覧

<https://www.jpx.co.jp/corporate/news/news-releases/0060/cg27su0000007ruk-att/20230526-02.pdf>

■住友林業の取り組み

長期ビジョン「Mission TREEING 2030」の発表から1年余り、「循環型森林ビジネスの加速」「ウッドチェンジの推進」「脱炭素設計のスタンダード化」を脱炭素事業の3本柱として取り組んでいます。業績面では米国を中心とする海外事業が拡大しており、海外住宅・建築・不動産部門の売上・経常利益が堅調に推移しています。新たな指数の構成銘柄選出を受け、住友林業の株式市場におけるプレゼンスを高め、企業価値の更なる向上に努めていきます。